

学校の教育目標

りこうで たっしやで ほがらかな 稲穂の子

学校経営方針 ～誰一人取り残さず全ての子どもの可能性を引き出す教育の実現を目指す～

学校運営の基盤とする視点

- 特別支援教育の視点で教育活動を推進していく
- 全職員であたたかいかかわりを行っていく
- 支え合い高め合い運営推進していく協働意識を持ち続ける

R8 目指す学校像 「子どもの主体性・協働性を高め伴走していくあたたかい学校」

目指す子ども像 ◎重点

- わかったことや思ったことを伝えることができる
- 自分の体を知り、体力向上や健康に気を付ける
- ◎ より良いものを作り出すために協働できる
- 人の話や文をしっかりと理解する
- 学習したことや他の意見をもとに答えを見付ける
- ◎ より良い行動を考え、進んで取り組む
- 自分も相手も価値ある存在として大切にす
- 自他の命を大切に行動をとることができる

R8年度 道徳教育の重点

- 自律的に判断し、自ら行動していく態度を育てる
- 目標へ向け、希望と勇気を持ち、努力しやり抜こうとする態度を育てる

【特別な教科道徳における重点内容項目】

「自律、希望と勇気、努力」

R8学校力向上へ向けた教育活動推進の重点

- I 一体感のある生徒指導により心理的安全性の高い学級・職場づくり
(支持的なあたたかい学校風土の醸成 いじめを許さない「いじめ見逃し0」)
- II 教育DXの推進
 - ① ICTを活用した包括的な学校改善
 - DX・・・働き方改革×ICT ⇒ 時間の創出 ⇒ 働きがいへ
 - ② 資質・能力を育む授業・教育活動への工夫・改善
 - 授業改善×ICT ⇒ 「主体的・対話的で深い学び」による資質・能力の育成
 - 主体的な学び及び主体的な活動を通じて子どもの自己肯定感を向上
 - 情報活用能力の系統的な育成
 - 学びの保障×ICT ⇒ オンラインで双方向の学びの充実(欠席時の対応)
- III 相談しやすい学校の実現
 - 学校全体での特別支援教育の研修による児童理解のアセスメントの職能向上
 - 組織的な児童のアセスメント及び教育相談体制の構築による、効果的な支援の実施のより児童の困り感の解消へ
- IV 持続可能な職場づくりへ向け創造的・組織的な業務マネジメント
 - トライ&エラーの精神と、協働的に支え合い業務推進する組織
- V 体力・生活習慣の向上へ向け自己調整していく力の醸成
 - 「チャレンジ2026」の実施
- VI 豊かな学び・成長を支える地学協働の推進
 - 地域と学校のwin-winを目指すCS・PTAとの連携
 - 9年間で資質・能力を高める小中一貫教育の推進(学びの発展継続)

持続可能な働きがいのある学校へ